

令和2年度 第6回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 令和3年1月12日(火) 14:00~16:00
- 2 開催場所 小平市立鈴木公民館 ホール
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 10名
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 令和2年度 小平市公民館定期講座等一覧表・・・資料1
(2) 令和2年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・資料2
(3) 令和3年度 小平市立公民館事業計画(案)・・・資料3
(4) 令和2年度 第5回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・資料4
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 自主研修会他について
(3) 公民館定期講座等について
(4) 東京都公民館連絡協議会について
(5) 令和3年度 小平市立公民館事業計画(案)について
(6) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 緊急事態宣言後の公民館運営について

政府の緊急事態宣言、都の緊急事態措置等を踏まえて小平市公民館では、感染症拡大防止のため、夜間貸出を休止することとした。1月9日から2月7日までの部屋貸しのうち、利用区分の午後6時から午後10時までの時間帯は貸出さない。

(2) 公共施設マネジメントについて

小平第十一小学校の建替えの際に複合化する花小金井北公民館、花小金井北地域センター

の利用者・利用団体へのヒアリングを実施した。12月11日及び15日に花小金井北公民館で、14日に花小金井北地域センターで、それぞれ1時間程度で、3回開催した。

はじめにこの取組を所管する公共施設マネジメント課が、ヒアリングの目的のほか、小学校の建替えの際に、小学校と公共施設を複合化することについての市の考え方やメリットを説明した。その後、参加した利用団体の方に、4つの点について、ヒアリングを行った。

- 1 現在利用している公民館、地域センターの利用しやすい点・残したい点
定期利用団体用のロッカーや備品庫があること、ホールが使いやすい、駐車場は残したいなど。
- 2 小学校との複合化で期待する点
若い世代が入ってきてくれる、サークル活動を見学してもらえないかのほか、公民館まつりに広がりができるのではないかなど。
- 3 小学校との複合化で考慮すべき点
人や車の出入りに対する防犯や動線の面での課題、また、忙しい先生に負担をかけないようにしなければならないなど。
- 4 子どもたちや地域にできること
見守りなどのボランティアへの参加や学習活動の成果を学校でも役立てられるのではないか、また、これらのことで高齢者と児童との交流が生まれるきっかけとなるなど。

(3) 公民館70周年記念誌の発行

会長をはじめ、全ての館の公民館事業企画委員並びに利用団体から寄稿いただき、完成に至った。ご覧いただければ幸いである。

(質疑応答)

- 委員 複合化の件について、先生の負担が増えないようにとの要望があったが、増えそうなのか。
- 館長 施設管理の面で、業務量の増が考えられるが、学校の先生に、その業務を担わせてはならないと思っている。
- 委員 2月7日まで、夜間の部屋貸出の休止とのことだが、ロビーなどは利用できるか。また、前回の緊急事態宣言では、チラシを見に来たかったという声があった。
- 館長 夜間は閉館ではないが、ロビーでの滞在は、特に夜間20時以降の外出自粛の観点からご遠慮いただくということで考えている。チラシの件についても、夜間外出自粛の要請を考慮していただきたい。

2 自主研修会他について

会 長 ズームについては、どうなっているか。

事 務 局 ズームの機器類は納品された。2月1日から使用できるライセンスの納品を待っている。自主研修会には間に合うと思っている。

会 長 ご意見は、あらかじめ伺っているが、ご意見の中で、公民連とは何かとのことがあったので、説明する。公民館各分館の利用者懇談会等の相互の交流により、公民館利用者の学習効果の向上と、親睦友好、公民館活動の充実・発展を図るためのもので、七館会、八館会、九館会と名前を変えてきた。近年では、公民館全館の利用者の連携が必要とことから、中央公民館を含めて全館で構成されている。2018年12月に、公民館利用者懇談会等連絡協議会に改名して、今日に至っている。略して、公民連と呼んでいる。では、各委員から一言ずついただきたい。

委 員 コロナ禍の中の公民館活動の中で、具体的にどういう風にしたらいいのだろうか。新しい学びの可能性、具体的な事例を聞きたいと思った。コロナの状況がどうなっているか不明のため、少人数で意見交換を行いたい。講師のお話は、1時間15分程度でグループ討議が30分程度と思っている。

委 員 初めての研修会でイメージがわからない。社会が変わりつつある中で、公民館がどうあるべきかを学びたい。その中で、コロナで変わりつつあると思うので、社会の中で公民館がどうあるべきかが聞きたい。

委 員 2月17日は、ズームで実施するのか。

事 務 局 機材は揃っていて、ライセンスも納品されると思うので、利用はできると思う。

委 員 公民館の今までの役割とこれからの役割など、コロナで大変になった社会で、もっといい方向に生かして行けないかということを知りたい。少人数のグループ討議は難しいと思う。

委 員 今、公民館の講座の際も討論する場合は、パーテーションで実施していると思う。感染状況にもよるが、可能であれば、事業企画委員や公民連の方などの公民館利用者の生の声を聞きたい。

- 委員 講師には、どのようなテーマで話していただきたいか、委員の希望を積極的にお伝えしたい。昭島市で開催予定であった、東京都公民館研究大会の課題別集会在中止になったが、先日レジメをいただいた。レジメを見ても、公民館の課題がどのようなものかは、なかなか分からなかった。主催者の意図をしっかりと、正・副会長の3人が事務局と打ち合わせして決めていただければいいと思う。
- 委員 世の中の状況が大きく変わっているので、ズームで実施するかどうかを先に決めて頂きたい。
- 委員 個人的に緊急事態宣言が延長されることを前提に話したい。集まるのであれば、向き合わない、小グループは難しいと思う。感染対策はしっかりしてほしい。
- 委員 ズームかハイブリッドか、集合形式かまず決めたらいいと思う。
- 館長 どのような形式で開催するか大事だと思う。ズームで実施するとなると技術的な問題もあるので、委員の考えをまとめてもらい、それに合わせて事務局が努力する。
- 会長 できれば、ズームで実施したいと思うが、正・副会長にお任せいただいていいか。
- 委員 ズームの意義と集合形式の意義がある。ただし、今回は、コロナに感染しないことを第一に考えれば、ズームが良いと思う。グループ分けもできると思う。
- 委員 万が一、感染者が出た場合、集合形式だと感染対策をしていたという説明は難しい。ズームで参加できない方も多いと思うが、次の課題である。今回は、感染をさせないという意味で、ズームが良いと思う。
- 館長 コロナ対策が大切であるので、ズームでの実施を検討する。内容については、細かい点まで決められないので、正・副会長に一任してもらおうと良いのではないか。
- 委員 市民活動支援センターでは、ズームの会議をすでに実施している。ハイブリッドで考えてほしい。
- 委員 文化スポーツ課でもズーム会議をすでに実施している。
- 委員 ズームなら事業企画委員や公民連の意見を聞くということでもいいのではないか。事務

局の進行が上手くいくのかどうか。技術的なことも含めてうまくいくかどうか。

会 長 では、テーマや時間配分、声かけについては、正・副会長と事務局で検討していく、ズームを使用して実施するということで進めていく。

3 令和2年度小平市公民館定期講座等について

上水南公民館、文化・教養講座「手作り調味料を作ってみよう」は、緊急事態宣言を受けて、講師と調整した結果中止とした。

中央公民館の子育て支援講座「子どもが力を発揮できるメカニズム～家族ができること～」は、明日から開催だが、まだ募集中のため応募者数が確定していない。文化・教養講座「初歩のアンドロイドスマホ・タブレット講座」は、応募者数48人で受講者数は14人。こだいらオール公民館まつりは中止だが、3月6日に親子向けイベントとして、マジックショーを実施する。

(質疑応答)

委 員 今後は、ズームで講座が実施できそうだとの話だが、分館の講座で中央公民館の機材を利用して開催することは可能か。

事 務 局 中央公民館で分館の講座を開催することは、スケジュールや講師などの都合が合えば可能だが、分館での開催を考えている利用者の状況を考慮したい。

委 員 自宅でズームを利用して受講するというイメージができない。また、参加者に対するズームの教育をどうするか。さらに、アフターコロナとして、集合形式の講座に戻るのか、ズームの利用は考えているか。

事 務 局 ズーム購入の背景には、閉館時に講座を開催することができること、対面でもズームでも、選択して受講できることがある。もともと、受講したい講座が遠くの公民館で開催している理由で、受講ができない方向けには、ズームで開催することで解決できる。また、ズームが定着すれば、今後も継続して活用することも考えている。ただ、公民館は、コミュニティの中核施設としての役割があるので、サークル化になりづらいであろうズームばかりの講座を実施していこうとは考えていない。

委 員 すでに、年度末を控えて、実施済みのものが多い。シニア講座は、定員に対して応募が多い。区分として、ジュニアが少ないように思う。音楽会、講演会は多くの方が集まっている。発信することが大切ではないか。ライブ配信等は、将来的に考えている

か。イベント告知にチラシを活用しているが、QRコードなど入れているか。

事務局 ジュニア講座について、年度当初は、各館予定していた。今年度は、4・5月は臨時休館で、6月に公民館が再開したが、講座の開催は5割程度を目指した。各館のジュニア講座の予定は夏休みが多かったため、今年度は開催が間に合わず、少なくなったものである。令和3年度は例年通りの予定となっている。

受講者の落選が多かった講座については、例年発生している状況である。余裕があれば、年度内に再度の開催は可能だが、年間スケジュールが決まっていることから、なかなか難しい。翌年以降、同じような講座を実施するかどうかは、事業企画委員と話し合っている。

講演会を遠隔で聞くことができるかについて、座学のような講座で、人と話すことのないような講座は、可能だと考えている。

チラシのQRコードについて、各館それぞれ工夫している。QRコードについても考えていく。

委員 市報やチラシを見逃すことが多い。ホームページに掲載することは可能か。

事務局 講座について、募集をかけているものについては、ホームページにチラシとともに掲載している。

4 令和2年度 東京都公民館連絡協議会について

委員より資料2について説明した。

5 令和3年度 小平市立公民館事業計画（案）について

事務局より資料3について説明した。ご意見があれば、2月17日の自主研修会までにお寄せいただき、3月の定例会には正式なものとして示したい。

（質疑応答）

委員 事業計画（案）は最近出来上がったのか。事業計画の趣旨は、事業企画委員には、浸透しているか。

事務局 事業企画委員には、4月以降に事業計画を示すことになる。

6 その他

会 長 緊急事態宣言により、夜間を休止したが、分館では、利用者からどのような声が上がっているか。

分館長 もともと、花小金井南公民館では、高齢者の利用サークルが多いため、年明けからキャンセルの申し出が多かった。今回、2月7日まで、夜間の部屋の貸出休止のため、予約されている団体には全て連絡したが、反対意見などは一切なかった。夜間の利用団体も、日中は利用できる旨説明し、サークル内で午前または午後に振り替えられるか検討している。各種団体から、問合せが増えているが、夜間の貸出休止のみであることを説明し、理解いただいている。日中活動している団体には影響がなく、コース、軽体操等の活動制限がないことで、従来どおりの感染対策を徹底していれば、現状維持である。

次回の定例会は、3月16日（火）午後2時から中央公民館にて開催する。